



# 徳成寺 寺誌かわり版 第159号 2020年3月



いつもありがとうございます。住職の大山です。  
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、今後の徳成寺での  
行事に関するお知らせをします。

一茶行責任者一  
住職  
大山健児  
坊主  
大山ひとみ

- ① 4/5（日）午後1時～の「春の法要のお勤め」は致します。
- ② 同日開催予定の健康講座・寺ともサービスデイについては、  
3/31（火）に当寺ホームページで発表しますのでご確認ください。  
または、お電話で徳成寺までお問合せ下さい。  
徳成寺に納骨なされた方と永代供養されている方にはお葉書でご案内致します。
- ③ 4/5（日）の春の法要のおとき（お食事）は実施致しません。  
代わりに法要参詣者には、ご用意したお弁当を進上致します。  
従ってお食事作りのボランティアも、この度は募集致しません。
- ④ 3/23（月）の仏教に親しむ集いはお休みします。



ウィルスの一日も早い収束を願います。  
この文章をお読みになるお一人お一人が、元気で過ごされますよう  
心からお祈りし合掌しております。くれぐれもお大事になさって下さいませ。

## 大山超世の耳を澄ませば

お世話になっています、長男です。

先月は研修で滋賀に行きました。講師は、80歳を超えたお坊さんですが、年齢を感じさせない力強い講義で、胸に残った言葉があるので紹介します。「出張で家を空けると家族に伝えたところ、家族がニコニコしている。普段は迷惑をかけないように生きているつもりなのだが、実は存在自体が迷惑であるのだ。同じ迷惑ならば、自分ができることは喜んですべきではないかと思う」どんなに配慮したとしても、生きている限り私達は必ず周りに影響を与えてしまうものです。だからこそ迷いや不安に流されず、為すべき事をする事を教えていただきました。人はしばしばは良かれと思ってやったことが余計なお世話だったりするのではないか、とか立ち止まってしまうものです。この言葉は仏教を通じて出会ってきた言葉や人を信頼しているからこそ出てくる前向きな気持ちなのだろうと同時に感じました。写真は朝焼けの琵琶湖です。寒かったのですが、良いものが見られました。

